

メッセージ

フィリピン共和国は、日本および他の国々と共に太平洋戦争終結 81 周年を迎えるにあたり、失われた罪なき命を追悼し、その甚大な苦しみと犠牲に耐えた人々に敬意を表します。

この厳粛な機会は、戦争の恐怖を決して忘れてはならないことを私たちに思い出させます。それは、平和への切望を呼び覚まし、和解の力に対する希望と確固たる信念を再燃させることができるからです。勇気と善意をもって、フィリピンと日本は、かつて戦時の疎遠によって特徴づけられた関係を、緊密な協力と相互信頼を通じて強化され続ける永続的な友情へと変えました。

私たちの包括的戦略的パートナーシップは、国家が紛争よりも対話を、対立よりも協力を選択するときに達成できることの証です。

亡くなった人々の記憶が、平和を受け入れ、戦争と紛争の脅威から解放された、私たちの国民のための安全で安心な未来という共通のビジョンに向かって共に働くという私たちの決意を強固にするように。

フィリピンと日本が、永続的な海洋パートナーとして、国際法を遵守し、紛争の平和的解決を提唱し、将来の世代が繁栄できる地域を形成するために協力するという共通のコミットメントを確固たるものにするように。

フェルディナンド・R・マルコス・ジュニア
フィリピン大統領

マニラ

2026 年 8 月 15 日